

平成 23 年度 第 1 回函館市福祉計画策定推進委員会 高齢者部会 会議概要

■ 日時 平成 23 年 8 月 9 日 (火) 18 時 30 分～20 時 00 分

■ 場所 市役所本庁舎 8 階大会議室

■ 議題

1 報告事項

- (1) 函館市福祉計画策定推進委員会の設置について
- (2) 函館市福祉計画策定推進委員会設置要綱について

2 協議事項

- (1) 部会長等の選出について
- (2) 計画策定にあたっての基本的事項について
- (3) 高齢者・要介護（要支援）認定者の現状について
- (4) 策定スケジュールについて

3 その他

■ 配付資料

(事前配付)

- ・ 会議次第
- ・ 函館市福祉計画策定推進委員会の設置について (資料 1)
- ・ 函館市福祉計画策定推進委員会設置要綱について (資料 2)
- ・ 計画策定にあたっての基本的事項について (資料 3)
- ・ 高齢者・要介護（要支援）認定者の現状について (資料 4)
- ・ 策定スケジュールについて (資料 5)
- ・ 介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の概要 (参考資料 1)
- ・ 介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針の改正(案)について (参考資料 2)

■ 出席委員 (13 名)

池田委員, 佐々木委員, 佐藤(実)委員, 佐藤(悠)委員, 澤田委員, 竹内委員, 田嶋委員, 谷口委員, 所委員, 新館委員, 堀口委員, 三谷委員, 山本委員

■ 欠席委員 (2 名)

恩村委員, 小松委員

■ 報道機関 1 社 (函館新聞社) ■ 傍聴者 0 名

■ 事務局職員

【福祉部】 川越部長

- ・ 福祉推進課 岸本課長, 木谷主査, 内藤主事
- ・ 介護高齢福祉課 西川課長, 成澤参事, 阿部主査, 塚本主査

【市立保健所】

- ・ 健康増進課 塚谷課長, 鈴木主査
- ・ 保健予防課 天羽課長, 岩島主査
- ・ 医務薬事課 日田課長, 磯西主査

■ 会議要旨

- 1 開会
- 2 部長挨拶
- 3 委員および事務局職員の紹介
- 4 報告事項

- (1) 函館市福祉計画策定推進委員会の設置について
- (2) 函館市福祉計画策定推進委員会設置要綱について

木谷主査

(資料 1, 2 を説明)

5 協議事項

- (1) 部会長等の選出について

内藤主事

本日は委員改選後の最初の部会ということで、部会長等がまだ選出されていないので、部会長等が決まるまでの間、事務局で議事を進めたい。

(1)部会長等の選出であるが、委員会設置要綱第6条第4項の規定により、部会長は委員の互選により定めることになっているが、事務局案としては、前回の委員会に引き続き、函館大妻高等学校校長の池田委員にお願いしたいがどうか。

(異議なしの声)

内藤主事

異議がないので、部会長は池田委員に決定する。

続いて、委員会設置要綱第6条第6項の規定により、部会長の職務を代理する委員を部会長が指名することとなっているので、部会長から指名をお願いしたい。

池田部会長

部会長の職務を代理する方は、私が出席できない場合に、司会進行してもらうことになるもので、私が予め指名することになっているが、前回と同様に、特別委員の中から選出したい。部会長の職務代理には函館市ボランティア連絡協議会会長の佐々木委員にお願いしたい。

内藤主事

指名があったので、部会長の職務代理は佐々木委員に決定する。

池田部会長から、挨拶をお願いしたい。

(池田部会長挨拶)

内藤主事

これからの部会については、部会長を議長として進めてほしい。

- (2) 計画策定にあたっての基本的な事項について

池田部会長

はじめに、協議事項(2)「計画策定にあたっての基本的な事項について」事務局から説明をお願いしたい。

木谷主査

(資料3を説明)

池田部会長

質問，意見等はないか。

三谷委員

日常生活圏域高齢者ニーズ調査については，どのくらいの回収率の見込みを予測しているのか。

池田部会長

調査は初めてやるのか，前もやっていたか。回収率はどのくらいなのか。

西川課長

設計段階では50%程度を見込んで設計をしている。今戻って来ている最中であるが，現時点で44%の回収状況である。1日から19日までの実施期間であるが，回答していただくペースとしては前半結構勢いがあったという状況である。

三谷委員

ありがとうございます。たまたま先週，うちのセンターで担当している方のところに届いたが，細かくて見えないというような話もあった。耳に入る限りは記載して返せるように職員が支援しているという実態もご報告しておく。

池田部会長

よろしくお願ひします。回収率が高ければ高いに越したことはないので，50%よりも60%のほうがもっと内容がしっかりしてくるということもあるので，みなさんの方もご協力いただければなと思う。函館市の計画，しっかりしたものを作りたいと思うので，お互いみなさんで協力し合えればと思う。よろしくお願ひしたい。

ほかに質問はないか。

(質問・意見なし)

池田部会長

次に協議事項(3)「高齢者・要介護(要支援)認定者の現状について」事務局から説明をお願いしたい。

木谷主査

(資料4を説明)

資料の一部訂正

9ページの6行目「高齢者のみの世帯」を「ひとり暮らしの高齢者世帯」に訂正。

池田部会長

質問，意見等はないか。

これは平成24年から平成26年の第6次の高齢者保健福祉計画の中にこの資料と今の独居老人の問題とかそういったもの，それから今回の調査を合わせてそれを反

映させていくという考え方か。

岸本課長

今部会長がおっしゃったとおりである。人口推計，高齢者人口の推計などについては，時点時点で修正を加えながら，色々な手法もあるので，改めて皆様方にお示しをし，計画の中にどういう施策で対応するかということについては，今，国の方もいろんな施策を提示しており，新しいサービスもある。そういったものも含めてどういうかたちで進めていこうかということについては，こちらの方からも資料を提出させてもらいながらみなさんにご議論いただきたいと思っている。

池田部会長

8月2日から4日まで東京の町田市で会議があって私も行ってきた。厚生労働省の定塚課長さんがこの人口ピラミッドについて話をしていたが，日本の人口ピラミッドの形態と函館市はほとんど変わっていない。やはり少子高齢化がどんどん進んでいるという実態というのはほとんど変わっていないという状況である。ただ，今木谷主査のお話を聞いていて，アンダーラインを引かせてもらったのが，9ページである。高齢単身世帯数が高齢夫婦世帯数を上回っている。だから一人で住んでいるお年寄りがかかなり多くなっているという現状が函館市にあるとするならば民生委員さんの方々との協働とか，いろいろそういった問題が出てくるのかなと思いつながらお話を聞いていた。そういったところもこれからの会議のなかでみなさんからご意見をいただければなと思っているので，よろしくお願ひしたい。新聞等でご承知のとおり，独居老人，一人で住んでいる方が日本全国でかなりの数が亡くなっているということがあるので，そういった問題もここに含まれているのかなと思うので，みなさんも今日これをお持ち帰りになって，資料としては参考になるものもたくさんあると思うので，検討を加えていく必要があるかなと思っている。

ほかに質問はあるか。

佐藤委員

今の部会長さんがおっしゃったこと，そのとおりだなと思って聞いていた。10ページの地域別の状況を見ると，東部地区では高齢者のいる世帯が58%と一番高い。ところが14ページの出現率を見ると，東部の方は一番少ない17%ということで，ある面ではそうだったのかと，こんな思いがした。これからの福祉計画を考えて行くときに，この東部地区の状況というか，福祉のあり方というか，各所帯の生活状況というか，非常に関心を持っていく必要があるのかなと思ったが，そんな受け止めでいいのかどうかということで伺いたい。

岸本課長

佐藤委員がおっしゃるのは，たぶんこの東部地区は高齢者が多いけれども，例えば周りが支えていて，認定を受けている方が少ないというイメージもお持ちなのかなと思う。これについては実質的には直接聞いた訳ではないので，その分析というのは現在のところないが，合併以前の状況等を考えてみると，東部は地域でまとまった社会が形成されているということを確認すると，おそらくそうだろうなとは思ふ。このことについてはまた改めて正確なかたちで検証をしながら対応をする。東部地区という，ある意味では函館市内でも少し性格が，歴史が違う場所なので，そこについては改めてこういうかたちがいいのではないかというサービスを考えていきたいと思う。

三谷委員

詳細なデータを非常に面白く拝見した。私の感想としては、11 ページの高齢者の住居状況を見たときに、地区ごとにばらつきはあるものの、公営または民営の借家で暮らしておられる方々が1万人くらいいらっしゃるというところで、統計的に例えば、居住形態での要介護認定状況というのを出す方法というのがあれば面白いと思った。というのはやはり借家で認知症になったり、ひとりで生活できなくなったりして出なければいけないのだとか、それから権利擁護の面から、そういったところで生活されている方が、もし、身寄りがなくて財産管理とか身上監護の対応ができなくなった場合に、誰が支えていくかという問題もあるのかなという気がしてこの表を拝見していた。こういう見方は非常に新鮮な切り口を頂いたなという感想とそういった住居形態別認定度合いがあるのかどうか、個別の現場でいくと非常に古い市営住宅に要介護者が多いという実感値はあるので、ああいった高層住宅なんかで要介護になったらなど、そんなことも感じながら活動しているので、感想ということで発言した。

池田部会長

居住者別のはあるのか。

西川課長

先ほどご説明した日常生活圏域高齢者ニーズ調査。要介護3～5の方を対象には実施をしていないが、要介護2までの方であればお住まいの状況ということで、アンケート調査にある、持ち家や賃貸住宅、公営住宅ないしは借家という部分をクロス集計で一定程度分析はできるのかなという状況である。それ以外では国勢調査で要介護度まで聞いていないと思うので、データの的にはないが、視点としては、今後の対応の部分では面白い視点じゃないのかなと思う。

池田部会長

そうである。本当にそう思う。

今日は町会連合会の方がいらっしゃるということで、そういう独居老人に対しての町会の対応のあり方をこれからどうあるべきかとか、いろいろ考えていく、いわゆる地域福祉という考え方からいけば、そういった考え方も成り立つのかなと思って聞いていた。

ほかにあるか。

(質問・意見なし)

池田部会長

この資料をぜひお持ち帰りになって、検討を加えていただいて次回に様々な立場のなかからご意見をいただければ。それこそ先ほど言ったように一人必ず一つ発言していただけるようなかたちが作ればなど。そのように思っているので、よろしくお願ひしたいと思う。

これで(2)と(3)が終了した。それでは(4)であるが、策定のスケジュールについて事務局からご説明をお願いしたい。

木谷主査

(資料5, 参考資料1, 参考資料2を説明)

池田部会長

今これからのスケジュールについて説明があった。このスケジュールに則って進めていくということになる。それぞれお仕事を持っている方もいらっしゃるのではなかなか合わないかと思うが、なるべく合わせて、私も頑張るのでお互いにたくさんの方々が集まれるようなかたちでやっていければと思っているので、事務局からお話があったら、合わせる事ができる方は合わせてもらいたいと思っている。

あとの方は参考資料ということであるが、これから介護福祉士の方は痰の吸引というものが入ってきている。最初の案では介護福祉士の勉強をしている段階で基本的なことをやり、それから実技もやらなければならなかったが、今度の改正では、基本的なものは学校で勉強する。介護福祉士に合格したあとに職場で痰の吸引等の実技をやるというふうにして変わってきているので、こういったところも参考になるかと思っている。施設の方々はこれからその指導もしていかなければならないということになろうかと思う。私の立場、高校の福祉科としてはお願いするという立場になってしまうが、よろしくお願ひしたいと思う。

最後に(6)その他について事務局から何かあるか。

木谷主査

第2回目の部会については、先ほどご説明したように9月を目途に開催したいと考えており、日程が決まり次第ご案内するのでよろしくお願ひしたい。

池田部会長

9月に第2回目の部会が開かれるということである。事務局にお願いであるが、早めにご連絡をいただければと思う。よろしくお願ひしたい。

全体を通して何かあるか。

佐藤委員

一つは昨年の国勢調査の結果、この資料の中にトータル的な人口しか出ていない。いつ詳細が出るのか分からないが、出る時期によってはこの計画の中に反映というのか、これから検討していくことになるのか。

もう一つは、これは地域包括支援センターさん中心にやっておられる高齢者見守りネットワーク事業も、あと1年か2年だったか、そんな計画期間になっていたかと思うが、その集約結果等も逐次反映していくことになるのかどうなのか。その辺をお尋ねしたい。

池田部会長

国勢調査の詳細と見守りネットワークについてである。

木谷主査

まず国勢調査について、今の状況では速報版ということではいわゆる総人口などしか出ていない状況である。国ではこれらの詳細版、年齢別だとかを今年の10月の予定で公表するとしているので、それが出次第、今度は素案だとかそういった中で新しいデータを取り込んでお示ししたい。

成澤参事

高齢者の見守りネットワーク事業の関係であるが、この事業については、今年度、23年度を最終年度ということで現在取り組んでいる。地域包括支援センターを中心にして地域の民生委員の方ですとか町会関係者のご協力を頂きながら実施をしている。ただ、地域の事情によって進捗状況に差はできているところであるが、頑張っ年度内の一巡できるように現在取り組んでいるところであるのでそれらの結果を踏まえながら、この計画の中でどういう位置づけにしていくのか、どういう事業に繋げていくのかといったようなことを皆様にお示ししながらご検討いただければと思っている。よろしくお願ひしたい。

池田部会長

ほかに全体を通して何かあるか。

(質問・意見なし)

池田部会長

今日の議題を全て終了した。次回に向けてまた宿題が出たようなので、ぜひみなさん内容を斟酌して次回に望みたいと。我々が頑張っ発言していい物を作っいきたいと思っている。よろしくお願ひしたい。

それではこれで今日の会議を終了する。